



NTT

ひかり電話対応ホームゲートウェイ

PR-600KI/PR-600MI/RX-600KI/RX-600MI

最初にお読みください

※本商品を設置・設定する前に、必ずお読みください。
NTT東日本・NTT西日本より光アクセスサービス（フレッツ光）の提供を受けた事業者様が、お客様に自社サービスと光アクセスサービスを組み合いで、サービスを提供するモデルを「光コラボレーションモデル」といいます。
また、光テレホンによる電話サービスを提供する事業者は「光コラボレーション事業者様」といいます。
光コラボレーション事業者様については、(NTT東日本: https://flets.com/collabo/list/、NTT西日本: http://flets-w.com/collabo/list/)にて最新の状況を確認いただけます。
・本商品で利用される光アクセスサービス、ひかり電話サービス、付加サービスも含みます。
・光コラボレーション事業者様のご提供するサービスの名称、提供条件等は、直接各光コラボレーション事業者様へお問い合わせください。
・その他、NTT東日本・NTT西日本の提供する個別のサービスの名称、個別の機能名等は、本紙に記載のとおりです。

本紙内のマーク説明

	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
	本商品を取り扱う上での注意事項を示しています。

本紙における本商品の外観図や画面イメージについては、RX-600MIの場合を例に説明しております。

PR-600MI/PR-600KI/RX-600KI/RX-600MIも設定手順等は同様です。

1. セットを確認してください

本体

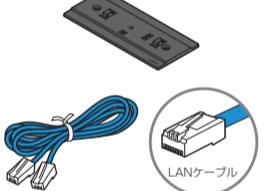


PR-600KI/PR-600MI/RX-600KI/RX-600MI (1台)

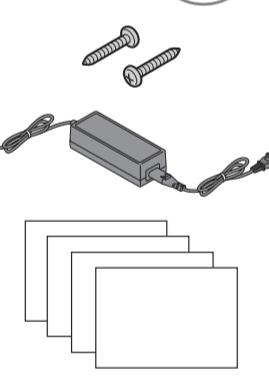
イラストの形状と異なる場合があります。

付属品

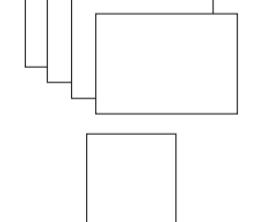
- スタンド (1台)
※ 工事者により取り付け済みの場合があります。



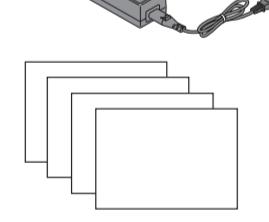
- LANケーブル (1本 / 約2m)
※ RX-600KI/RX-600MI機種にのみ、WAN側ポート接続用として付属しています。その他の機種には付属しておりません。



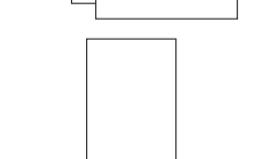
- 壁掛け設置用ネジ (2本)



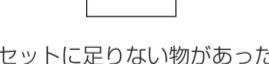
- 電源アダプタ (1式)
※ 電源コードを電源アダプタに奥まで確実に差し込んでお使いください。



- 取扱説明書 (1部)
・ 最初にお読みください (本紙)
・ ひかり電話の使いかた (別紙)
・ 安全にお使いいただきために必ずお読みください (別紙)
・ 故障かな?と思ったら (別紙)



- 光加入者線端装置ユーザマニュアル (1部)
※ PR-600KI/PR-600MI機種にのみ付属しております。その他の機種には付属しておりません。



- ※ 同軸ケーブルコネクタ端子がない場合はGE-PON型、同軸ケーブルコネクタ端子がある場合はSCM-GE-PON型マニュアルをそれぞれ付属いたします。

※ セットに足りない物があったり、取扱説明書等に不備等があった場合は、「故障かな?と思ったら (別紙)」に記載のお問い合わせ先にご連絡ください。

※ イラストと形状が異なる場合があります。

お客様にご利用いただく物

【ひかり電話のご利用に必要な物】

- 電話機
※ 電話機コードもご用意ください。
- 開通のご案内

※ 電話機の電話回線ダイヤル種別は「PB」に設定してご使用ください。電話回線ダイヤル種別が「DP」の場合、通常の発信や通話は問題なく行なうことができますが、⑧や⑨を用いた電話機からの設定やいくつかの付加機能をご利用になれません。

※ ホームテレホンの内線電話機やISDN 対応電話機等はご利用になれません。

【インターネット接続および設定変更に必要な物】

- LANポートを持つパソコン
- LANケーブル
- プロバイダの設定情報 (ID、パスワード)

【パソコンとの無線LAN接続に必要な物】

本商品の無線LAN機能を使用する場合には専用無線LANカードが必要です。

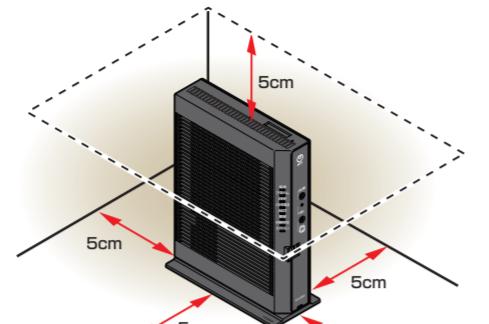
- 専用無線LANカード
PR-600KI/PR-600MI/RX-600KI/RX-600MI: 専用無線LANカード (SC-4ONE「2」)

※ 本商品の拡張カードスロットに装着して使用します。

2. 設置する

本商品を設置する

本商品は、前後左右5cm、上5cm以内に、パソコンや壁等の物がない場所に設置してください。壁掛けの場合は壁掛け面を除きます。



注意! 換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因になります。

冷蔵庫やTV等、ノイズ源となる可能性のある機器の近くには設置しないでください。本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

スタンドを付けて縦置きにする

イラストのように、本商品本体に付属のスタンドを付けて縦置きでご使用ください。



注意! 本商品は横置きでのご使用はできません。内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

警告

- ・ 本商品の拡張カードスロットの上にコイン等の小さな物を置かないでください。
拡張カードスロットのカバーが開き、本商品の中に異物が入った場合、火災・感電の原因となります。
- ・ また、拡張カードスロットに指定のカード以外のカードは入れないでください。故障の原因となります。

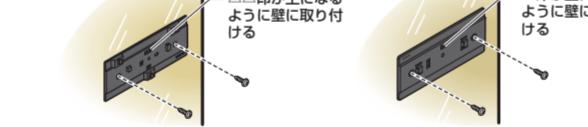
スタンドを用いて壁掛けにする

■取り付けかた

スタンドを使用して壁に取り付けます。
あらかじめ、スタンドを本商品に装着して設置方向および設置スペースを確認してからスタンドを取り付けてください。

- 付属のスタンドを底面が壁側になるように、付属の壁掛け設置ネジで取り付ける

本商品名がPRから始まる場合 本商品名がRXから始まる場合



- 本商品を横にスライドさせて固定させる

本商品名がPRから始まる場合 本商品名がRXから始まる場合



注意! このとき、力をかけすぎると本商品および壁が破損する恐れがありますので注意してください。

※ イラストの形状と異なる場合があります。

お願い

- ・ 壁掛けの場合、壁掛け面を除く上下左右と正面に空間を作って設置してください。
- ・ 本商品が落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動等が加わる場所には設置しないでください。
- ・ 本商品が落下すると危険ですので、ベニヤ板等のやわらかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。
- ・ 壁掛け設置されている状態でケーブル等の接続等を行う場合には、落下すると危険ですので必ず本商品本体を手で支えながら行ってください。
- ・ 本商品の拡張カードスロットに装着して使用します。

警告

- ・ 本商品名が PR から始まる場合、または RX から始まり小型 ONU でご使用になる場合、工事者が光ファイバの接続を行なう場合は、専門の作業者が行なうため、お客様での接続は不要です。お客様が機器の設置や設定等を行なう場合には、「設定ガイド (別紙)」をご覧の上、お客様で光ファイバの接続をお願いします。また、故障の原因となる場合がありますので、光ファイバの接続面は不注意にお手を触れないようお願いします。
- ・ 付属の電源アダプタおよび電源コード以外を使用しないでください。また、付属の電源アダプタ、電源コードを他の製品に使用しないでください。

3. 接続する

PR-600の場合

- 1 本商品の電話機ポートと電話機やファックスを電話機コードで接続する

- 2 (同軸ケーブルコネクタ端子がある場合) 本商品の同軸ケーブルコネクタ端子とTVやSTBを接続する

- 3 電源アダプタと電源コードを接続する

- 4 本商品に電源アダプタを差し込む

- 5 電源プラグを電源コンセントに差し込む

RX-600の場合(WANポートでRJ-45をご使用になる場合)※WANポートとLINEポートを同時にご利用いただくことはできません。

- 1 LANケーブルの一方を本商品のWANポートに差し込む

- 2 LANケーブルのもう一方を右のイラストを確認して差し込む

ご利用のフレッツ光ネクストのタイプにより、差し込む先は異なります。

- 3 本商品の電話機ポートと電話機やファックスを電話機コードで接続する

- 4 電源アダプタと電源コードを接続する

- 5 本商品に電源アダプタを差し込む

- 6 電源プラグを電源コンセントに差し込む

RX-600の場合(LINEポートで小型ONUをご使用になる場合)※WANポートとLINEポートを同時にご利用いただくことはできません。

- 1 小型ONU挿入口(LINE)にあるシャッター(蓋)を開き、小型ONUを接続する

※ 小型ONUは、電気通信事業者が提供する小型の光回線端装置です。

※ 小型ONUの接続方法・お取扱方法の詳細は、小型ONUのマニュアル類(取扱説明書等)をご確認ください。

※ 小型ONU以外の装置は接続しないでください。

(接続)・本商品の小型ONU挿入口(LINE)に小型ONUを接続します。小型ONUの接続端子が本商品背面左側になるように接続します。

・小型ONUは本商品の小型ONU挿入口(LINE)に押し込み、抜けやゆるみがないことを確認してください。

・小型ONUに光ケーブルを接続します。

- 2 本商品の電話機ポートと電話機やファックスを電話機コードで接続する

- 3 電源アダプタと電源コードを接続する

- 4 本商品に電源アダプタを差し込む

- 5 電源プラグを電源コンセントに差し込む

- 6 最新のファームウェアが公開されている場合は、本商品の電源を入れると自動的にバージョンアップを行ないます。バージョンアップ中は本商品の電源を切らないでください。

- 7 ファームウェアのバージョンアップ中は、本商品前面のアラームランプが赤点灯し、初期状態ランプが橙点灯します。

警告

- ・ 本商品名が PR から始まる場合、または RX から始まり小型 ONU でご使用になる場合、工事者が光ファイバの接続を行なう場合は、専門の作業者が行なうため、お客様での接続は不要です。お客様が機器の設置や設定等を行なう場合には、「設定ガイド (別紙)」をご覧の上、お客様で光ファイバの接続をお願いします。また、故障の原因となる場合がありますので、光ファイバの接続面は不注意にお手を触れないようお願いします。
- ・ 付属の電源アダプタおよび電源コード以外を使用しないでください。また、付属の電源アダプタ、電源コードを他の製品に使用しないでください。

4. ひかり電話を使ってみよう！

本商品のひかり電話ランプが緑点灯していることを確認してから、ひかり電話の発信、着信ができるかお試しください。

※ 発信側には通話料がかかります。

ひかり電話ランプ: 緑点灯

※ ひかり電話ランプが緑点灯していないときは、左記「接続する」をご覧の上、接続を確認し、本商品の電源を入れ直してください。

電源を入れた後、ひかり電話ランプが緑点灯するまで5分程度かかる場合があります。

以上でひかり電話が使えるようになりました。

注意! ご利用になるには、ひかり電話サービス契約が必要です。
なお、ひかり電話の開通日以前に機器を接続した場合、ひかり電話はご利用になれません。

5. インターネットに接続してみよう！

本商品の設定は、Webブラウザを使って行います。

あらかじめ本商品とパソコン等使用する機器の接続をしておきましょう。

※ Webブラウザにてcookieを有効にしてください。無効だと下記の設定ができない場合があります。

※ ブラウザの対応状況については、以下のWebサイトでご確認ください。

NTT東日本: http://web116.jp/ced/support/various/index.html
NTT西日本: https://www.ntt-west.co.jp/kiki/support/correspond/index.html

- 1 Webブラウザを起動し、アドレス欄に「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス (工場出荷時は「http://192.168.1.1」に設定) を入力する

- 2 画面にしたがって機器設定用パスワ

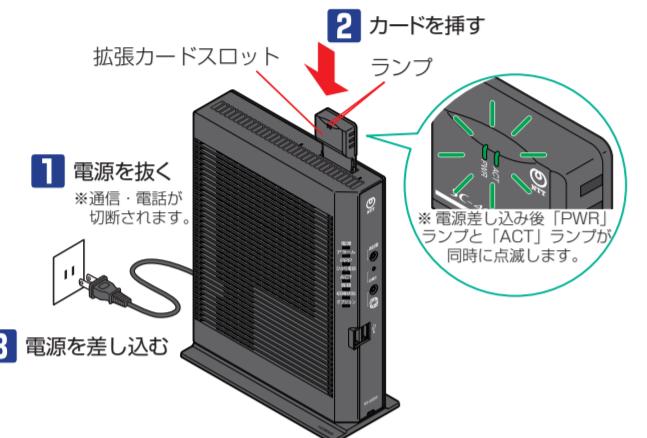
無線 LAN のご利用について



専用無線LANカード（SC-4ONE「2」）を本商品に差し込むことにより無線LANをご利用になれます。SC-4ONE「2」の取扱説明書を合わせてご確認ください。
(無線LANサービスの契約が必要です)。
より詳細な情報は「機能詳細ガイド」をご確認ください。

専用無線 LAN カードの取り付け

本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いた状態で、専用無線LANカード（SC-4ONE「2」）を拡張カードスロットの奥まで装着してください。専用無線LANカード（SC-4ONE「2」）はイラストのとおり、本商品のランプ側を右にして専用無線LANカード（SC-4ONE「2」）のランプが見える方向で装着してください。誤った方向で装着すると本商品や専用無線LANカード（SC-4ONE「2」）が故障する場合があります。



- 1 電源を抜く
※通常、電話が切断されます。
- 2 カードを挿す
ランプ
- 3 電源を差し込む
※電源差し込み後、「ACT」ランプが同時に点滅します。

無線 LAN 端末との接続

本商品と無線LAN端末をWi-Fi接続するには、3つの設定方法があります。無線LAN端末に合わせて選択してください。

無線 LAN 簡単セットアップ	①らくらく無線スタート
手動設定	②無線 LAN 簡単接続機能
	③SSID・暗号化キーの手動設定



① らくらく無線スタート

1 ゲーム機等の「らくらく無線スタート」を起動する
※ゲーム機等で「らくらく無線スタート」を起動する方法についてはゲーム機等の取扱説明書等をご確認ください。

2 本商品前面もしくは背面の「らくらくスタートボタン」を1秒以上押し、本商品前面の登録ランプが緑点滅したら放す
「らくらく無線スタート」の通信が開始されると、本商品前面の登録ランプが緑点滅します。

3 本商品前面の登録ランプが橙点滅することを確認する
「らくらく無線スタート」による設定が開始されます。

4 本商品前面もしくは背面の「らくらくスタートボタン」を1秒以上押し、本商品前面の登録ランプが橙点灯したら放す
設定が完了すると、本商品前面の登録ランプが橙点灯します。

「らくらく無線スタート」での無線LAN設定が完了し、登録ランプは橙点灯した10秒後、緑点灯に変わります。

- 設定中にアラームランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。
「故障かな?と思ったら(別紙)」をご確認ください。

② 無線 LAN 簡単接続機能

Windows® 10の無線LAN設定を例に記載しています。本機能で無線LANの設定が可能ですが、接続を保証するものではありません。他の無線LAN端末のユーティリティやドライバがインストールされると、無線LAN接続が失敗する場合があります。その場合は、他の無線LAN端末のユーティリティやドライバをアンインストールしてください。

1 本商品前面もしくは背面の「らくらくスタートボタン」を1秒以上押し、本商品前面の登録ランプが緑点滅したら放す

「無線 LAN 簡単接続機能」での設定が開始されると、本商品前面の登録ランプが緑点滅します。
(設定によっては緑点滅の場合があります。)



2 お使いのパソコンの、通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているネットワークアイコンをクリックする

3 本商品のSSID-1に設定されている無線ネットワーク名（SSID）をクリックする

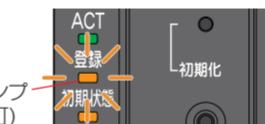
* 本商品の工場出荷状態での無線ネットワーク名（SSID）は、本商品側面のラベルを確認してください。



4 【接続】をクリックする



5 本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する



6 「コントロールパネル」を開く

7 「ネットワークとインターネット」 - 「ネットワークと共有センター」をクリックする

8 ③で選択した無線ネットワーク名（SSID）を右クリックし、「ワイヤレスのプロパティ」をクリックする

9 「接続」タブをクリックし、「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックを入れて、[OK]をクリックする



③ SSID・暗号化キーの手動設定

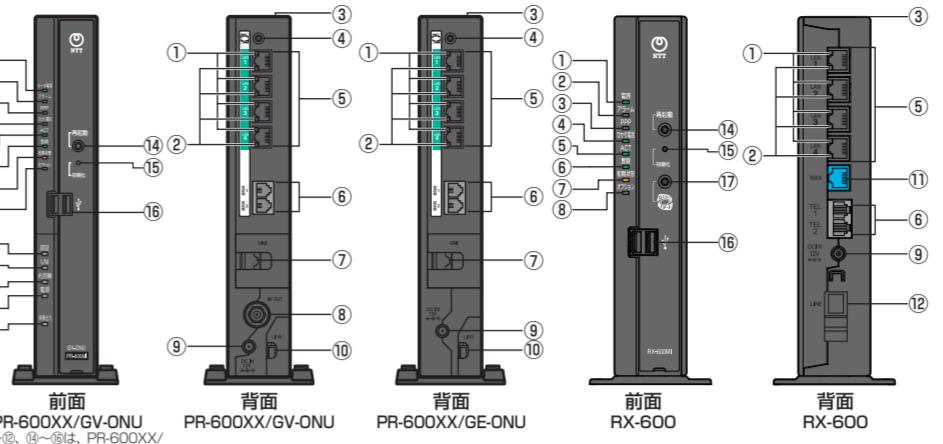
1 本商品側面に記載されているSSIDと暗号化キーを確認する



2 無線LAN端末にSSIDと暗号化キーを設定する

* SSIDと暗号化キーの設定方法は、お手持ちの無線 LAN 端末の取扱説明書等をご確認ください。

各部の名称



*お客様のご利用環境によって、形状が異なる場合があります。

● 前面

【ランプ表示】

ランプの名称	表示（色）	状態
① ルータ電源ランプ（電源ランプ ¹ ）	消火	ルータ機能部に電源が入っていません。
② アラームランプ	消火	正常な状態です。
③ PPP ランプ	消火	オフライン状態です。
④ ひかり電話ランプ	消火	ひかり電話が利用できません。
⑤ ACT ランプ	消火	ひかり電話機能／ルータ機能が利用できません。
⑥ 登録ランプ	点滅	ひかり電話機能／ルータ機能でデータ通信中です。
⑦ 初期状態ランプ	点滅	ネットワークから設定情報を取得していません。
⑧ オプションランプ	消火	内蔵無線 LAN (IEEE802.11ac) が無効な状態です。
⑨ 認証ランプ ⁵	点滅	内蔵無線 LAN (IEEE802.11ac) が動作中です。
⑩ UNI ランプ ⁵	点滅	装置運用準備中または装置故障です。 ⁴
⑪ 光回線ランプ ⁵	点滅	内蔵の ONU 機能が利用できません。
⑫ 電源ランプ ⁵	点滅	ONU 機能のファームウェアのダウンロード中です。 ⁶
⑬ 映像出力ランプ ⁷	点滅	映像サービスが利用できません。
⑭ 登録ランプ（橙点滅）	点滅	映像サービスが利用できます。
⑮ 初期化ランプ	点滅	映像機能が障害状態です。 ⁴

【スイッチ等】

名称	機能説明
⑯ 再起動スイッチ	本商品を再起動するために使用するスイッチです。
⑰ 初期化スイッチ	設定を初期化するため使用するスイッチです。
⑱ USB ポート	USB 機器を接続するためのポートです。

【ランプ表示】

ランプの名称	表示（色）	状態
登録ランプ	緑点滅	「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定準備中です。
	橙点滅	「無線 LAN 簡単セットアップ」で設定のため通信中です。
	橙点灯 (10 秒間)	「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定が完了しました。橙点灯 10 秒後、緑点灯に変化します。

【背面】

【ランプ表示】

ランプの名称	表示（色）	状態
① 100/1000 BASE-T ランプ (4 個)	消火	1Gbps/100 Mbps でデータ送受信できません。
② LINK ランプ (4 個)	橙点火	1Gbps/100 Mbps でデータ送受信できます。

【ポート名等】

名称	表示	機能説明
③ 拡張カードスロット	—	無線 LAN カード (SC-4ONE「2」) を装着します。
④ らくらくスタートボタン	らくらくスタート	「無線 LAN 簡単セットアップ」等の諸設定を起動するためのボタンです。
⑤ LAN ポート	LAN1 ~ LAN4	LAN ケーブルを使用してパソコン等と接続するためのポートです。
⑥ 電話機ポート	電話機 (TEL1) / 電話機 (TEL2)	電話機コードを使用して電話機を接続するためのポートです。
⑦ UNI ポート ⁵	UNI	通常はお客様によるポート接続が必要ありません。本商品内のルータ機能部と接続されています。
⑧ 同軸ケーブルコネクタ端子 ⁷	RF OUT	映像サービスをご契約の場合は同軸ケーブルが接続されます。
⑨ 電源アダプタ端子	DC IN	付属の電源アダプタのコードを差し込みます。
⑩ 光ファイバ導入口	LINE	お客様は光ファイバ導入部分に接続しないでください。
⑪ WAN ポート	WAN	LAN ケーブルを使用して回線端端装置/VDSL モデム等の LAN ポートと接続するためのポートです。本商品と接続する小型 ONU を挿入する端口です。
⑫ 小型 ONU 接続 (LINE)	LINE	本商品と接続するためのポートです。

*1 本商品名がPOMから始まる場合は「電源ランプ」です。
*2 ルータ機能のファームウェアの更新中アラームランプが赤点火し、初期状態ランプが点滅する場合があります。
*3 本商品が「場出荷初期」（初期状態ランプ点滅）でも、電源を入れた後、ひかり電話ランプが緑点滅すればひかり電話が利用できます。「Web設定」を行って初期状態ランプは消火します。
*4 「故障かな?と思ったら(別紙)」をご確認ください。
*5 本商品が「場出荷初期」（初期状態ランプ点滅）では、お手持ちのスマートフォン等の機器との接続が出来ています。
*6 本商品の機能が「らくらく無線スタート」で起動する場合のみ付属しています。
*7 PR-600X/GV-ONU および PR-600XX/GV-ONU の場合のみ付属しています。

*8 SSIDのXXXXXXは、本商品固有の6桁の半角英数字です。

*9 暗号化キーの初期値は、ランダムに生成した本商品固有の13桁の半角英数字です。

*10 登録ランプが10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。

「故障かな?と思ったら(別紙)」をご確認ください。

本商品の初期化

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して、工場出荷状態に戻すことをいいます。本商品が正常に動作しない場合や今までとは異なる回線に接続し直す場合、または機器設定用パワードを忘れた場合やIPアドレスを間違えたりして本商品にアクセスできなくなつた場合には、本商品を初期化して初めて設定し直すことをお勧めします。「Web設定」で初期化することもできます。詳細は、「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の「メンテナンス」 - 「設定値の初期化」をご確認ください。

初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻りますのでご注意ください。

ひかり電話に関する設定もすべて消去されます。初期化後、本商品が起動すると、再度ひかり電話の自動設定が行われます。ひかり電話の利用が可能になると登録ランプ、ひかり電話ランプが緑点灯します。ランプ状態を確認してください。ひかり電話の自動設定が完了した状態でも初期状態ランプは橙点灯します。

【設定初期化について】

本商品の初期化は、下記の手順で行います。

1 本商品の初期化スイッチを押したまま、再起動スイッチを押して放す

初期化スイッチは押し続けてください。

本商品前面の全ランプが点灯します。



2 本商品前面の初期状態ランプが消灯後、再度橙点灯したら、初期化スイッチを放す

起動後、初期状態ランプが橙点灯したら、初期化は完了です。

*初期化が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。故障の原因となることがあります。

*初期状態ランプが消灯後、再度橙点灯するまで1分程度かかります。

1 本商品に設定する接続先ユーザ名や接続パスワードは重要な個人情報です。情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分お気をつけください。本商品を返却される場合は、必ず初期化を行い、設定された情報を消去してください。

バージョンアップについて

本商品はファームウェアを常に最新の状態に保

ひかり電話の使いかた

NTT東日本・NTT西日本より光アクセスサービス（フレッツ光）の提供を受けた事業者様が、お客様に自社サービスと光アクセスサービスを組み合わせて、サービスをご提供するモデルを「光コラボレーションモデル」といいます。また、本モデルによりサービスをご提供する事業者様を「光コラボレーション事業者様」といいます。

- 光コラボレーション事業者様名については、(NTT東日本：<https://flets.com/collabo/list/>)、NTT西日本：<http://flets-w.com/collabo/list/>)にて最新の状況をご確認いただけます。
- 本紙で記載されている「フレッツ光」や「ひかり電話」や「付加サービス（キャッチホン等）」は、光コラボレーションモデルによりご提供される光アクセスサービス、ひかり電話サービス、付加サービスも含みます。
- 光コラボレーション事業者様のご提供するサービスの名称、提供条件等は、直接各光コラボレーション事業者様へお問い合わせください。
- その他、NTT東日本・NTT西日本の提供する個別のサービスの名称、個別の機能名称等は、本紙に記載のとおりです。



ひかり電話をより詳しく使いたい場合はこちらをご確認ください。
※ご案内する各機能や設定をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

本紙内のマーク説明

! この表示は、本商品を取り扱う上の注意事項を示しています。

本商品名が、RXから始まる場合、電話機1ポートをTEL1ポート、電話機2ポートをTEL2ポートに読みかえてご覧ください。

ひかり電話で発着信できるサービス

ひかり電話で接続できる番号については、以下のWebサイトでご確認ください。

NTT東日本：<https://flets.com/hikaridenwa/use/access.html>

NTT西日本：<http://flets-w.com/hikaridenwa/ryuujikou/index.html#setsuzoku>

ひかり電話のいろいろな使いかた

内線通話

本商品の他の電話機ポートに接続された電話機、ひかり電話用無線IP端末等、LANポートに接続されたIP端末等を呼び出して、通話することができます。

- ①ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します。
- ②呼び出す電話機等の内線番号（「1～9」、「10～99」の1～2桁）をダイヤルします。
※内線番号は変更できます。詳しくは、「機能詳細ガイド」の「ひかり電話の使いかた」の【電話設定】-「[内線設定]」をご確認ください。
- ③通話が終わったら、ハンドセットを置きます。

<初期値>

内線番号	内線設定画面
1～2	アナログ端末
3～7	IP 端末

内線転送

外の相手との電話を本商品の他の電話機ポートに接続された電話機、ひかり電話用無線IP端末等、LANポートに接続されたIP端末等に取りつぎます。

- ①電話中の外の相手の方に待っていただくように伝え、フッキング^{(*)1}します。
- ②呼び出す電話機等の内線番号（「1～9」、「10～99」の1～2桁）をダイヤルします。
※内線番号は変更できます。詳しくは、「機能詳細ガイド」の「ひかり電話の使いかた」の【電話設定】-「[内線設定]」をご確認ください。
- ③呼び出された方が応答したら、転送することを伝えます。
- ④ハンドセットを置いて転送を実行します。

<初期値>

内線番号	内線設定画面
1～2	アナログ端末
3～7	IP 端末

(*)1 フッキングとは
電話機のフックスイッチを押すことです。1秒以上押し続けると電話が切れることができます。コードレス電話機や多機能電話機等をお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタン等）を押します。



- !** 同時に利用できる内線通話・内線転送はどちらか1通話です。
- 内線番号を押してすぐに発信させたい場合は、番号に続けて「#」（シャープ）を押してください。
 - 内線転送で、転送先の方が応答する前に外の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置くと、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留している相手の方とお話しできます。
 - ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話がご利用になれます。

発信者番号の通知

発信者番号通知とは、相手方にこちらの電話番号を通知する機能です。
発信者情報（番号）を通知するかどうかは相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）をつけて、通知するかしないかを電話ごとに指定できます。

割込音通知

ダブルチャネル／複数チャネルでのお話し中や、内線通話中に、かかってきた電話に出ることができます。

- !** アナログ端末のみで利用できる機能です。

着信番号の設定

電話機ごとに、着信させる電話番号を個別に設定することができます。複数の電話機に同じ電話番号を設定すれば、一斉に電話機を呼び出すことができます。

着信鳴り分け

内線用と外線用で着信音を変えたい場合や電話番号によって着信音を変えたい場合に着信音を変更することができます。

- !** 着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機の通常の着信音に設定してください。
- アナログ端末のみで利用できる機能です。

モデムダイヤルイン

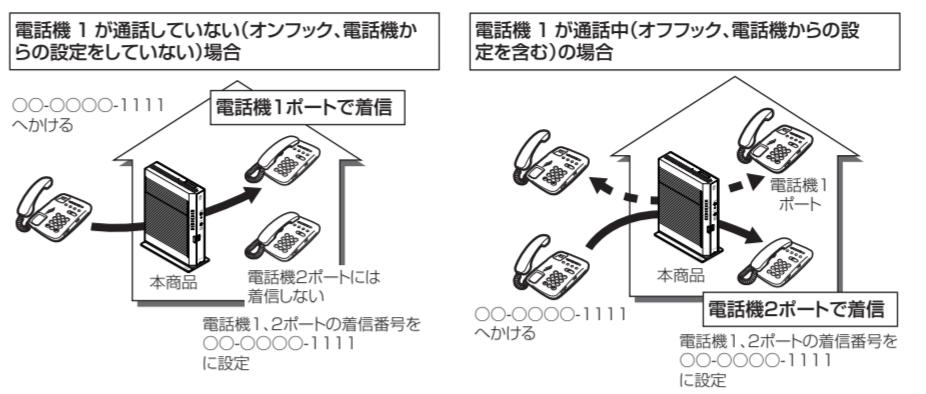
モデムダイヤルイン対応の電話機を接続して、1台の電話機で複数の電話番号を使い分けることができます。

- !** モデムダイヤルイン対応の電話機等が必要です。操作方法は、ご利用になる機器の取扱説明書等をご確認ください。
- アナログ端末のみで利用できる機能です。

優先着信ポート

本商品の2つの電話機ポートにそれぞれアナログ端末を接続している場合、優先して着信する電話機ポートを設定することができます。
優先着信ポートをご利用になる場合、IP端末はご利用になれません。

【電話機1ポートを優先着信ポートに設定した場合】



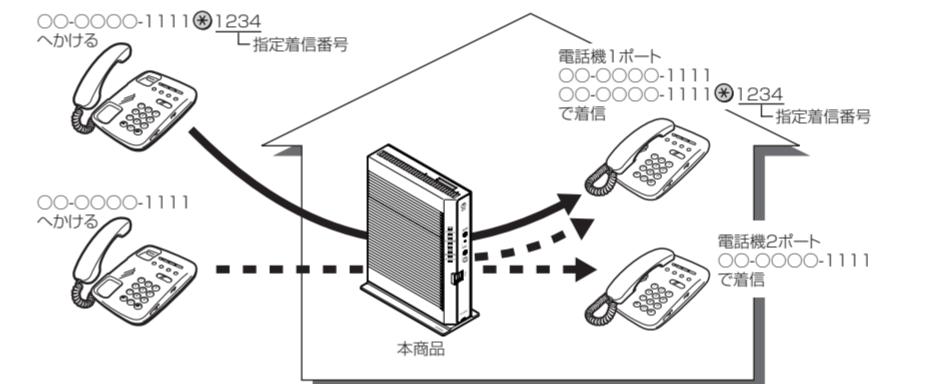
* ダブルチャネル／複数チャネルをご利用の場合、電話機1ポートが電話中にかかってきた電話は、電話機2ポートにのみ着信します。

* キャッチホンサービスをご利用の場合は、電話機1ポートが電話中であっても電話機2ポートには着信しません。電話中の電話機1ポートにキャッチホンの「ブッブ…」という割込音が聞こえます。

- !**
 - 優先着信ポートを有効に設定した場合、電話機1、2ポートを無効に設定できません。電話機1、2ポートを無効に設定する場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。
 - 電話機1、2ポートで同一の着信番号が1つの場合、優先着信ポートと指定着信機能を合わせてご利用になるには、先に指定着信機能の設定を行ってください。指定着信機能の設定では、「指定なし着信」にチェックしてください。
 - 優先着信ポートを有効に設定した場合、IP端末はご利用になれません。IP端末をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。
 - 優先着信ポートを有効に設定した場合、割込音通知はご利用になれません。割込音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。

指定着信機能

相手の方が電話をかけるとき、電話番号に続けて指定着信番号をダイヤルすることにより、特定のアナログポートに接続された端末を呼び出すことができます。



- !**
 - アナログ端末のみで利用できる機能です。
 - 詳しくは、「機能詳細ガイド」の「ひかり電話の使いかた」の「ひかり電話のさまざまな使いかた」をご確認ください。
 - 指定着信番号で着信した場合には、キャッチホンはご利用になれません。
 - マイナンバー／追加番号ご利用の場合でも、指定着信機能をご利用になれる番号は1つだけです。
 - 指定着信番号は0～9の任意の数字で、最大19桁となります。
 - 指定着信番号が発信可能な電話回線は、ISDN、ひかり電話、携帯電話となります。なお、携帯電話からの指定着信番号発信の可否は、各事業者様により異なります。
 - ひかり電話から指定着信番号を発信した場合は、ひかり電話以外の回線やNTT東日本・NTT西日本のひかり電話提供エリア外へ指定着信させることはできません。

ひかり電話の付加サービス

キャッチホン

お話し中でも、かかってきた電話に出ることができます。ご使用になるには事前にキャッチホンのご契約が必要となります。

- お話し中に「ブッブ…」という割込音が聞こえる
- 相手の方に他から電話がかかってきたことを伝え、フッキング^{(*)1}する最初に話していた方との通話は保留されます。
- 後からかけてきた方とお話しする最初に話していた方には保留音が流れます。
- 通話終了後にハンドセットを置く着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげて最初に話していた方とお話しをしてください。
※ フッキングでも切り替えができます。



キャッチホンサービスおよび通話中の着信について

契約の有無	着信側	発信側
キャッチホンのご契約がある場合	上記のキャッチホン動作をします。(注1)	呼び出し音が聞こえます。
キャッチホンとダブルチャネル／複数チャネルの両方のご契約がある場合	2チャネルとも通話中のとき、上記のキャッチホン動作をします。(注1) なお、1チャネルのみ通話中の状態で、新たにかかってきた電話を通話中端末で出たいた場合に、割込音通知を「使用する」に設定(※1)してください。(注2)	呼び出し音が聞こえます。(注3)
ダブルチャネル／複数チャネルのご契約がある場合	1チャネルのみ通話中の状態で、新たにかかってきた電話を通話中端末で出たいた場合は、割込音通知を「使用する」に設定(※1)してください。	呼び出し音が聞こえます。(注3)
キャッチホン、ダブルチャネル／複数チャネルのご契約がない場合	通話中の電話を継続します。(注4)	お話し中音が聞こえます。(注4)

- (※1) 割込音通知は、電話機から設定できます。
(注1) キャッチホン契約の場合、「割込音通知」設定にかかるらず、キャッチホンの「ブッブ…」という割込音が聞こえます。
(注2) 1チャネルのみ通話中の状態で、新たに電話がかかってきた場合、本商品に接続された別の電話機でも、かかってきた電話に出ることができます。
(注3) 1チャネルのみ通話中の状態で、新たに電話がかかってきて、本商品に接続された別の電話機でも、かかってきた電話に出ることができます。お話し中の電話機が割込音通知を「使用しない」に設定されていると、発信者側にお話し中音が聞こえます。
(注4) 内線で通話中の場合は、お話し中の電話機が割込音通知を「使用する」に設定されていると、「ブッブ…」という割込音が聞こえます。このとき、発信者側には呼び出し音が聞こえます。

- !**
 - キャッチホンをご利用いただくにはキャッチホンのご契約が必要です。
 - キャッチホンやダブルチャネル／複数チャネルで、先にかかってきた電話とお話し中にかかってきた電話を取り替えて通話しているときに、一方の相手との通話を保留したままハンドセットを置くと、着信音が鳴ります(呼び返し)。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話しできます。
 - ファックス通信中はキャッチホンの動作はしません。ファックス通信中に着信があった場合、発信者側にはお話し中音が聞こえます。
 - ダブルチャネル／複数チャネルで割込音通知を「使用する」に設定していて、ファックス通信中の電話機には割込音通知は動作しません。別の電話機で着信しない場合、発信者側にはお話し中音が聞こえます。

ナンバー・ディスプレイ

着信があった場合、発信者側の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファックスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。ご使用になるには事前にナンバー・ディスプレイのご契約と下記の設定が必要になります。

- 必要な設定**
①本商品にナンバー・ディスプレイを使用する設定を行います。(☞裏面)
※初期値は「使用する」に設定されています。ナンバー・ディスプレイをご契約でない場合やナンバー・ディスプレイに対応していない電話機を接続する場合は「使用しない」に設定してください。
②電話機ポートに、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続します。
③接続した電話機のナンバー・ディスプレイの設定を行います。



かけてきた相手の電話番号が通知される

安全にお使いいただくために 必ずお読みください

・NTT東日本・NTT西日本より光アクセスサービス（フレッツ光）の提供を受けた事業者様が、お客様に自社サービスと光アクセスサービスを組み合わせて、サービスをご提供するモデルを「光コラボレーションモデル」といいます。
また、本モデルによりサービスをご提供する事業者様を「光コラボレーション事業者様」といいます。
・光コラボレーション事業者様名については、(NTT東日本：<https://flets.com/collabo/list/>、NTT西日本：<http://www.ntt-west.jp/collabo/list/>)にてご確認ください。
・本紙に記載されている「フレッツ光」や「ひかり電話」や「付加サービス」、「キャッチポン等」は、光コラボレーションモデルによりご提供される光アクセスサービス、ひかり電話サービス、付加サービスも含みます。
・光コラボレーション事業者様のご提供するサービスの名称、提供条件等は、直接各光コラボレーション事業者様へお問い合わせください。
・その他、NTT東日本・NTT西日本の提供的個別のサービスの名称、個別の機能名称等は、本紙に記載のとおりです。

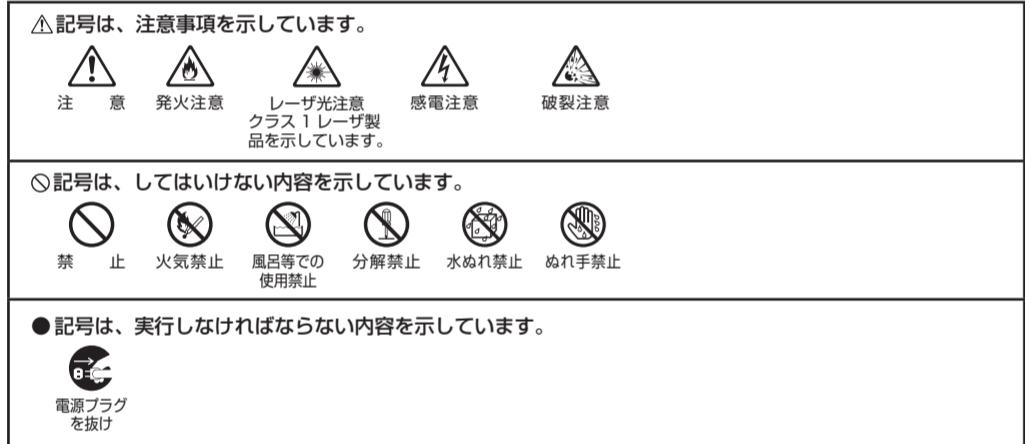
本紙には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本紙を紛失または損傷したときは、本商品のお取り扱いおよび故障に関するお問い合わせ（以下、お問い合わせ先）にご連絡ください。

本紙内のマーク説明

	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

お守りいただきたい内容を次の図記号で説明しています。



ご使用にあたって

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

●ご使用の際は取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
●本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外では利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
●本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外因によって、通信等の機会を逸したために生じた損害や万一本商品に登録された情報内容が消失してしまう等の純粋経済損失につまつては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとる等して保管くださるようお願いします。
●本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担当者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となり、また事故のものとなりますので絶対におやめください。
●本商品の取扱説明書等に、他社商品の記載がある場合、これは参考目的とした物であり、記載商品の使用を強制するものではありません。
●本商品の取扱説明書等の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お問い合わせ先へお申し付けください。
●ソフトウェア仕様、ハードウェア仕様、外観および取扱説明書等の内容は将来予告なしに変更することがあります。
●本商品の電話機ポートは、加入電話の仕様とは完全に一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
●本商品名が、PRから始まる場合の光ファイバ導入部分および光ファイバ、RXから始まる場合の小型ONU挿入部分およびONUに接続する光ファイバは、当社の設備となります。通常のメンテナンスや調整等は不要です。ご利用中はお手を触れないようお願いします。
●停電時には本商品は使用できません。電源が復旧した後は、動作を確実にするため、一度電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いた後、10秒以上たってからもう一度差し込んでください。
●本商品に搭載されているソフトウェアの解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリング等）、コピー、転売、改変を行うことを禁止します。
●セキュリティ対策を行わず、あるいは、本装置の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

【返却される場合の留意事項】

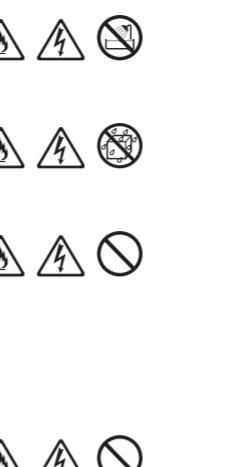
本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータ流出等による不測の損害を回避するために、本商品を返却される際には、取扱説明書等をご覧の上、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

警告

設置場所

- 風呂、シャワー室への設置禁止
風呂場やシャワー室等では使用しないでください。
漏電して、火災・感電・故障の原因となります。
- 水のかかる場所への設置禁止
水のかかる場所で使用したり、水にぬらして使用したりしないでください。
漏電して、火災・感電・故障の原因となります。
- 本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コード、LANケーブル、USBケーブルのそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品等の容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードのモジュラープラグ、USBケーブルに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コード、LANケーブル、USBケーブルを次のようないくつかの環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
 - ・ 屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラの近く等の温度が上がる場所
 - ・ 調理台のそば等、油飛びや湯気の当たるような場所
 - ・ 湿気の多い場所や水・油・薬品等のかかる恐れがある場所
 - ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガス等が発生する場所
 - ・ 製氷庫等、特に温度が下がる場所
- 自動ドア、火災報知機等の自動制御機器の近くに置かないでください。
本商品で無線LANをご利用になる場合は、自動ドア、火災報知機等の自動制御機器の近くに置かないでください。本商品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあります。誤動作による事故の原因となることがあります。

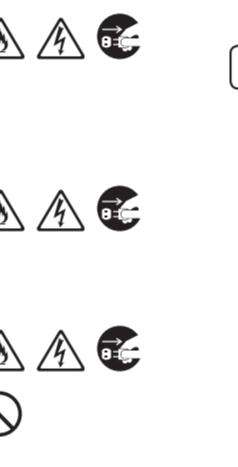
火災・感電の危険



こんなときは

- 発煙した場合
万一、煙が出ている、変なにおいがする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コード、LANケーブル、USBケーブルで接続している機器をそれぞれ抜いて、煙が出なくなるのを確認し、お問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 水が装置内部に入った場合
万一、本商品やケーブル、モジュラージャックの内部に水等が入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、お問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電・故障の原因となります。

火災・感電の危険



- 異常音がしたり、本商品が熱くなっている場合
本商品から異常音がしたり、本商品本体が熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、お問い合わせ先に修理をご依頼ください。
- 异物が装置内部に入った場合
本商品の通風孔等から内部に金属類や燃えやすい物等の異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、お問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 破損した場合
万一、落としたり、破損した場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、お問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタの取り扱い注意
付属の電源アダプタ以外を使用したり、付属の電源アダプタを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、電源アダプタに物を載せたり、掛けたりしないでください。過熱し、火災・感電の原因となることがあります。

火災・感電の危険



- 電源アダプタの設置の注意
電源アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろ等）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。また、電源アダプタ本体を宙吊りに設置しないでください。
- 電源アダプタ（電源プラグ）と電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。
- ソフトウェア仕様、ハードウェア仕様、外観および取扱説明書等の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お問い合わせ先へお申し付けください。
- 本商品の電話機ポートは、加入電話の仕様とは完全に一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 本商品名が、PRから始まる場合の光ファイバ導入部分および光ファイバ、RXから始まる場合の小型ONU挿入部分およびONUに接続する光ファイバは、当社の設備となります。通常のメンテナンスや調整等は不要です。ご利用中はお手を触れないようお願いします。
- 停電時には本商品は使用できません。電源が復旧した後は、動作を確実にするため、一度電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いた後、10秒以上たってからもう一度差し込んでください。
- 本商品に搭載されているソフトウェアの解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリング等）、コピー、転売、改変を行うことを禁止します。
- セキュリティ対策を行わず、あるいは、本装置の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

火災・感電の危険



- 電源コードが傷んだ場合
電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線等）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、お問い合わせ先に修理をご依頼ください。
- 電源コードの取り扱い注意
付属の電源コード以外を使用したり、付属の電源コードを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 停電時には本商品は使用できません。電源が復旧した後は、動作を確実にするため、一度電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いた後、10秒以上たってからもう一度差し込んでください。
- 本商品の電話機ポートは、加入電話の仕様とは完全に一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 本商品名が、PRから始まる場合の光ファイバ導入部分および光ファイバ、RXから始まる場合の小型ONU挿入部分およびONUに接続する光ファイバは、当社の設備となります。通常のメンテナンスや調整等は不要です。ご利用中はお手を触れないようお願いします。
- 停電時には本商品は使用できません。電源が復旧した後は、動作を確実にするため、一度電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いた後、10秒以上たってからもう一度差し込んでください。
- 本商品に搭載されているソフトウェアの解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリング等）、コピー、転売、改変を行うことを禁止します。
- セキュリティ対策を行わず、あるいは、本装置の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

火災・感電の危険



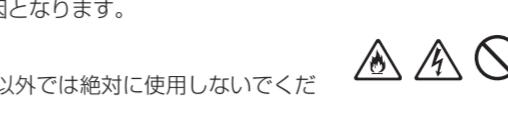
- 延長コード利用の禁止
電源アダプタ（電源プラグ）のコードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。

警告

たこ足配線の禁止

- 本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップ等が過熱・劣化し、火災の原因となります。
- 商用電源以外の使用禁止
AC100V ± 10V (50/60Hz) の商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。

火災・感電の危険



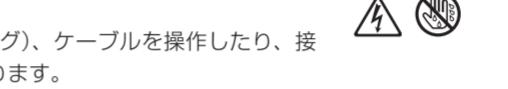
- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システム等）では使用しないでください。
- 分解・改造の禁止
本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- むらすことの禁止
本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、LANケーブル、電話機コードのモジュラープラグに水が入ったりしないようご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。

火災・感電の危険



- 本商品を壁に取り付けるときは、本商品の重みにより落下しないようしっかりと取り付け設置してください。落下して、けが・破損の原因となることがあります。

火災・感電の危険



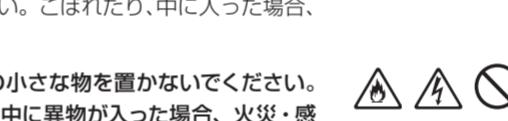
- むれた手での操作禁止
ぬれた手で本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブルを操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。
- 本商品名がPRから始まる場合、またはRXから始まる小型ONUをご使用になる場合、本商品はレーザーを使用しています。光ファイバの先端や光コネクタ接続部をのぞき込まないようにご注意ください。本商品はクラス1レーザー製品です。
- 本商品名がPRから始まる場合、またはRXから始まる小型ONUをご使用になる場合、本商品の蓋を開けて内部の光ファイバに触れたり、コネクタから光ファイバを取り外したりしないでください。レーザ光源によるけが、装置故障の原因となることがあります。
- 本商品の内部や周囲でエアダスター等、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となることがあります。

火災・感電の危険



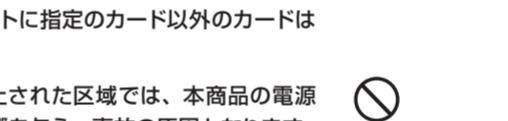
- 异物を入れないための注意
本商品やケーブルの上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな貴金属を置かないでください。こぼれたり、中にに入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
- 本商品の拡張カードスロットの上にコイン等の小さな物を置かないでください。拡張カードスロットのカバーが開き、本商品の中に異物が入った場合、火災・感電の原因となります。また、拡張カードスロットに指定のカード以外のカードは入れないでください。故障の原因となります。
- 航空機内や病院内等の無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ベースメーカー等の近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ベースメーカー等が誤動作する等の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。

火災・感電の危険



- プラグの取り扱い注意
電源アダプタ（電源プラグ）は電源コンセントに確実に差し込んでください。抜くときには必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品の電源アダプタ（電源プラグ）の抜き差しをする場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いたら、10秒以上あけてから差し込んでください。
- 電源アダプタ（電源プラグ）の清掃
電源アダプタ（電源プラグ）と電源コンセントの間のほこりは、定期的に（半年に1回程度）取り除いてください。火災の原因となることがあります。清掃の際は、必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。
- 長期不在時の注意
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。
- 拡張カードの抜き差しは、本商品の電源を切った状態で行ってください。本商品および取り付けたカードが故障することがあります。

火災・感電の危険



- 本商品名がRXから始まる場合、本商品のLINEポートに小型ONUが挿入されている場合があります。小型ONUの抜き差しは、本商品の電源を切った状態で行ってください。本商品および装着した小型ONUが故障することがあります。
- 雷のときの注意
落雷の恐れのあるときは、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。落雷時に、火災・感電・故障の原因となることがあります。雷が鳴りましたら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- 火災・地震等が発生した場合、本商品の状態を確認し、異常が認められた場合にはお問い合わせ先までご連絡ください。装置故障の恐れがあります。
- 「最初にお読みください（別紙）」にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。
- 移

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような場所への設置は避けてください。

- ・ ほこりや振動が多い場所
- ・ 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
- ・ ラジオやテレビ等のすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場合
- ・ 特定無線局や移動通信体のある屋内
- ・ 盗難防止装置等 2.4GHz 周波数帯域を利用している装置のある屋内
- ・ 高周波雜音を発生する高周波ミシン、電気溶接機等が近くにある場合
- ・ 電化製品等、発熱する機器が近くにある場合

- 本商品は、縦置きの場合はスタンドを取り付けて設置してください。

また、壁掛け設置をする場合には、付属の壁掛け設置用ネジを使用して、本商品の背面が下になるように固定し設置してください。

転倒、落下により、けが、故障の原因となることがあります。

- 本商品を電気製品・AV・OA 機器等の磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所に置かないでください。（電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器等）
- ・ 磁気や電気雜音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります。（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。）
- ・ テレビ、ラジオ等に近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることができます。
- ・ 放送局や無線局等が近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。

- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオ等をお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。

- 本商品と無線 LAN 端末の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1m 以上離してお使いください。

- 本商品とコードレス電話機や電子レンジ等の電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

- 本商品の隙間から虫がいると、故障の原因となることがあります。

・ 廉屋や台所等に設置するときは、虫が入らないようにご注意ください。

禁止事項

- 動作中（特にデータ設定中）に、再起動スイッチを押したり、ケーブル類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となり、大切なデータを失うことがあります。動作中は、再起動スイッチをむやみに押したり、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

- 落したり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。本商品にパソコン等の電子機器を非常に多く接続し、通信が集中した場合に、本商品が正常に動作できない場合がありますのでご注意ください。

日頃のお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて行ってください。

- 汚れたら、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布（よく絞った状態）でふいた後、乾いた布でふき取ってください。化学そうきんの使用は避けてください。

ただし、コネクタ部分はよく絞った状態でもぬれた布では、絶対にふかないでください。

ベンジン、シンナー等の有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。

- 本商品に殺虫剤等の揮発性の物をかけたりしないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープ等を長時間接触させないでください。変形や変色の原因となることがあります。

ご利用前の注意事項

通信に関する注意事項

- お客様宅内の接続環境により、最大通信速度が得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- インターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報搾取等の危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコンにファイアウォールのソフトウェアをインストールする等の対応をお願いいたします。

電話機能に関する注意事項

- ひかり電話をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。
- 本商品の電源が入っていない場合は、ひかり電話をご利用いただくことはできません。
- ひかり電話でファクスやアナログモード通信を行った場合、あるいは音声ガイド等で通話中にブッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に失敗することがあります。通信が失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して使用料金がかかります。
- ひかり電話や映像コンテンツの視聴等を同時に、本商品に負荷がかかった場合に、映像コンテンツの視聴に影響を及ぼす可能性があります。
- お客様のご利用環境によっては、ひかり電話の通話が安定しない可能性があります。
- ひかり電話使用中に本商品の電源が切れた場合、通話が切断されます。また、再起動中、バージョンアップ中は通話ができません。
- ひかり電話使用中および使用後一定時間は、「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。ひかり電話使用終了後一定時間たってから設定を行ってください。
- ひかり電話使用中および使用後一定時間は、「Web 設定」等での本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度操作を行ってください。
- 「Web 設定」や「らくらくスタートボタン」からの設定、電話機からの設定、ひかり電話に対応した IP 端末からの自動設定により、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示等）、通信が切れる場合があります。
- 「Web 設定」、電話機からの設定により、ひかり電話に対応した IP 端末やパソコン等の通信が切断される場合があります。設定を変更する場合は、通信を終了してから行ってください。
- 本商品に接続した電話機の ACR 機能・LCR 機能または 0036、0039 等付与機能がオンの場合、ひかり電話が発信できない場合があります。ACR 機能・LCR 機能または 0036、0039 等付与機能をオフにしてご利用ください。（設定方法等はお使いの電話機の取扱説明書等をご覧ください。）
- 本商品は、ファームウェアを常に最新の状態に保つため、最新のファームウェアが確認されると、あらかじめ設定された時間帯にあわせて、自動的にファームウェアの更新を行います。ファームウェアの更新機能の詳細については「最初にお読みください（別紙）」をご覧ください。なお、ファームウェアの自動更新について、以下の点にご注意ください。
 - ・ ひかり電話使用中および使用後一定時間は、本商品のファームウェアの更新が行われません。使用後一定時間たってからファームウェアの更新が行われます。
 - ・ ファームウェアの更新中（1 分程度）は、ひかり電話をご利用になれません。緊急通報等もご利用になれませんのでご注意ください。
 - ・ ファームウェアの更新中（1 分程度）は、すべての接続が切断されます。インターネットや映像コンテンツ・視聴等の各サービスをご利用中に、ファームウェアの更新が実行される場合がありますので、ご注意ください。
 - ・ ファームウェアの自動更新が実行されると、再起動し、ご利用中のインターネットや映像コンテンツ・視聴等の各サービスが中断される場合があります。ファームウェアの更新が終了するまではしばらくお待ちください。
- 本商品に接続する電話機コードは、劣化したものご使用をお控えください。

お客様情報に関する注意事項

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出するとの損害を受ける恐れがありますので、データの管理には十分ご注意ください。
- 本商品を返却される場合は、本商品を初期化することにより、本商品内のデータを必ず消去してください。
- 本商品の初期化は、「最初にお読みください（別紙）」に記載された初期化方法の手順にしたがって実施してください。

有線 LAN に関する注意事項

- 最大 1 Gbps（規格値）や最大 100 Mbps（規格値）は、1000BASE-T や 100BASE-TX の有線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）を示すものではありません。

- 最大 1733 Mbps（規格値）や最大 600 Mbps（規格値）、最大 300 Mbps（規格値）、最大 54 Mbps（規格値）、最大 11Mbps（規格値）は、IEEE802.11n の無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）を示すものではありません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は、周囲の環境条件（通信距離、障害物・電子レンジ等の電波環境要素、使用するパソコンの性能、ネットワークの使用状況等）により大きく変動します。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g および IEEE802.11n を使用する機器が混在している場合は、IEEE802.11n を使用する機器のスループットが著しく下がることがあります。
- IEEE802.11n および IEEE802.11ac で通信を行なうためには、無線 LAN 端末の無線の暗号化を「暗号化なし」または「WPA2-PSK (AES)」（推奨）に設定する必要があります。
- IEEE802.11a、IEEE802.11n (5GHz) および IEEE802.11ac を使用する機器が混在している場合は、スループットが著しく下がることがあります。

電波に関するご注意

無線 LAN 製品の電波に関するご注意

本商品（*）は、IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11b および IEEE802.11g 通信利用は 2.4GHz 帯域の電波を使用しています。
この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される移動体識別用構内無線局および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、「故障かな？」と思ったら（別紙）裏面に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

- 本商品（*）は、IEEE802.11n (5GHz)、IEEE802.11a および IEEE802.11ac 通信利用は 5GHz 帯域の電波を使用しています。
- 5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。

- 本商品（*）は、日本国内でのみ使用できます。

- 次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。

- ・ 強い磁界、静電気、電波障害が発生する場所（電子レンジ付近等）
- ・ 金属製の壁（金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む）の部屋
- ・ 異なる階の部屋どうし

- 本商品（*）と同じ無線周波数帯の無線機器が、本商品の通信可能エリアに存在する場合、転送速度の低下や通信エラーが生じ、正常に通信できない可能性があります。

- 本商品（*）をコードレス電話機やテレビ、ラジオ等をお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。

- 本商品（*）は、技術基準適合認証を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- ・ 本商品（*）を分解・改造すること

- 本商品（*）は、他社無線 LAN カードやパソコン内蔵の無線との動作を保証するものではありません。

- IEEE802.11n (5GHz)、IEEE802.11a および IEEE802.11ac で使用するチャネルは 36、40、44、48ch (W52) と 52、56、60、64ch (W53) と 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch (W56) です。無線 LAN アクセスポイント（親機）としては、従来の IEEE802.11a で使用の 34、38、42、46ch (J52) の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n/ac

J52 W52 W53 W56

- W52 (5.2GHz 帯 / 36, 40, 44, 48ch), W53 (5.3GHz 帯 / 52, 56, 60, 64ch), W56 (5.6GHz 帯 / 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch) が利用できます。

- IEEE802.11n (5GHz)、IEEE802.11a および IEEE802.11ac で接続する無線 LAN 端末（子機）として利用する機器は、以下の表示がある物を推奨します。

- ・ W52 (5.2GHz 帯 / 36, 40, 44, 48ch)

- ・ W53 (5.3GHz 帯 / 52, 56, 60, 64ch)

- ・ W56 (5.6GHz 帯 / 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)

- W53 (5.2/56/60/64ch) または W56 (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch) を選択した場合は、法令により次のようないくつかの制限事項があります。

- ・ 各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。

- ・ 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。

- チャネル帯域設定で「40MHz」または「80MHz」を使用する場合は、同一周波数帯を使用する他の無線局に対して干渉を与える可能性があります。

- ・ チャネル帯域設定で「40MHz」または「80MHz」を使用する場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前にお確かめください。

- ・ 万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに「20MHz」に設定を変更してください。

- 本商品（*）は 2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能ですが、変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しており、想定干渉距離は 40m です。

本商品（*）に表示した  は、次の内容を示します。

2.4	使用周波数帯域	2.4GHz 帯
DS/OF	変調方式	DS-SS および OFDM 方式
4	想定干渉距離	40m 以下
■ ■ ■	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であること

※ 「本商品（*）」はここでは、無線 LAN 機能を利用されている場合を示します。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下の問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウイルス等を流しデータやシステムを破壊する（破壊）等の行為をされてしまう可能性があります。

本來、無線 LAN 製品

故障かな？と思ったら

・NTT東日本・NTT西日本より光アクセスサービス（フレッツ光）の提供を受けた事業者様が、お客様に自社サービスと光アクセスサービスを組み合わせて、サービスをご提供するモデルを「光コラボレーションモデル」といいます。
また、本モデルによりサービスをご提供する事業者様を「光コラボレーション事業者様」といいます。
光コラボレーション事業者様については、NTT東日本：<https://flets.com/collabo/list/>、NTT西日本：<http://www.ntt-west.jp/collaboration/>
本モデルにより提供される光アクセスサービスは、ひかり電話や「ひかりTV」、「キャッシュボン等」は、光コラボレーションモデルにより提供される光アクセスサービス、ひかり電話サービス、附加サービスも含みます。
・その他、NTT東日本・NTT西日本の提供する個別のサービスの名称、個別の機能名等は、本紙に記載のとおりです。

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まず本紙を読んで対処してください。

設置に関するトラブル

本商品のご利用方法に合わせてどこまで設置、設定できているのか現在の症状をご覧の上その原因と対策をご確認ください。

本商品前面のルータ電源ランプ（電源ランプ ^{*1} ）が緑点灯していますか？	→いいえ（a参照） ↓はい
本商品前面のアラームランプが消灯していますか？	→いいえ（b参照） ↓はい
本商品名がPRから始まる場合のみ確認します 本商品前面の認証ランプ、UNIランプ、光回線ランプ、電源ランプがすべて緑点灯していますか？	→いいえ（c参照） ↓はい
本商品前面のACTランプが緑点灯していますか？	→いいえ（d参照） ↓はい
本商品前面の登録ランプが緑点灯していますか？	→いいえ（e参照） ↓はい
本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯していますか？ ^{*2}	→いいえ（f参照） ↓はい
ひかり電話が使えますか？ ^{*2}	→いいえ（g参照） ↓はい
本商品背面のLINKランプが緑点灯していますか？	→いいえ（h参照） ↓はい
パソコンのIPアドレスが設定されていますか？ (IPアドレスの確認方法は、「機能詳細ガイド」の「本商品の設定」の「[Web設定]」の使いかた)をご確認ください。	→いいえ（i参照） ↓はい
Webブラウザで本商品の「Web設定」ページが表示されますか？	→いいえ（j参照） ↓はい
設定後、本商品前面のPPPランプが点灯していますか？ ↓はい	→いいえ（k参照）
インターネットに接続できましたか？ ↓はい	→いいえ（l参照）
上記以外の症状が発生していますか？	→はい（m参照）

本商品前面のルータ電源ランプ（電源ランプ ^{*1} ）が緑点灯していない	→いいえ（n参照） ↓はい
ルータ電源ランプ（電源ランプ ^{*1} ）が消灯している	●電源アダプタ（電源プラグ）が壁等の電源コンセントから外れていないか確認してください。 ●電源コンセントに他の電気機器を接続して電気がきているか確認してください。 ●電源アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動した電源コンセントに差し込まれている場合は、壁等の電源コンセントに直接接続してください。（パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまします。） ●電源アダプタ（電源プラグ）のコードが破損していないか確認してください。 破損している場合はすぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、お問い合わせ先に修理をご依頼ください。
上記以外の症状が発生していますか？	→はい（m参照）

※1 本商品名がRXから始まる場合は「電源ランプ」です。

※2 ひかり電話をご利用になるためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

b. 本商品前面のアラームランプが消灯していない

症 状	原因と対策
アラームランプが赤点灯している	●初期状態ランプも橙点灯している場合は、ファームウェアの更新中です。ファームウェアの更新中は、本商品の電源を切らないでください。 ●本商品で異常が発生しています。約15分間待ってもアラームランプが赤点灯している場合は、本商品の電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直す際は、お問い合わせ先に修理をご依頼ください。

c. 本商品前面の認証ランプ、UNIランプ、光回線ランプ、電源ランプが緑点灯していない

症 状	原因と対策	
光回線ランプが橙点滅している	●ONU機能のファームウェアのダウンロード中です。 電源ランプが赤点滅している	●ONU機能のファームウェアのダウンロード完了状態です。本商品再起動後、緑点灯になります。
電源ランプが赤点滅している	●本商品で異常が発生しています。本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。	
認証ランプが消灯している	●ONU機能のファームウェアのダウンロード中です。 電源ランプが消灯または赤点灯している	●UNI機能のファームウェアのダウンロード完了状態です。本商品再起動後、緑点灯になります。
UNIランプが消灯している	●本商品で異常が発生しています。本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。	

d. 本商品前面のACTランプが緑点灯していない

症 状	原因と対策
ACTランプが消灯している	一本商品名がPRから始まる場合ー ●本商品で異常が発生しています。本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合はお問い合わせ先に修理をご依頼ください。
	一本商品名がRXから始まる場合ー(WANポートでRJ-45をご使用になる場合) ●本商品と回線終端装置(ONU)、またはVDSLモデルの両方に電源が入っていることを確認してください。(直接RJ-45モジュラージャックにつないでいる場合は、本商品の電源が入っていることを確認してください。)
	●LANケーブルが本商品のWANポートと回線終端装置(ONU)、またはVDSLモデル、壁のモジュラージャックの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか、確認してください。
	一本商品名がRXから始まる場合ー(LINEポートで小型ONUをご使用になる場合) ●本商品の小型ONU挿入口(LINE)に小型ONUが正しく接続されていることを確認してください。(直接RJ-45モジュラージャックにつないでいる場合は、本商品の電源が入っていることを確認してください。)
	●本商品で異常が発生しています。本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合はお問い合わせ先に修理をご依頼ください。

e. 本商品前面の登録ランプが緑点灯していない

症 状	原因と対策
登録ランプが消灯または緑点滅している	一本商品名がPR/RXから始まる場合ー ●本商品にネットワークからの設定情報を取得しております。しばらく待ち、登録ランプが緑点灯することを確認してください。 数回再起動を行うことがあります、電源を抜いたりせず、そのまましばらく待ってください。
	●回線開通日前に本商品を接続した場合には、登録ランプが消灯または緑点滅します。
	一本商品名がRXから始まる場合ー(LINEポートで小型ONUをご使用になる場合) ●本商品の小型ONU挿入口(LINE)に小型ONUが正しく接続されていることを確認してください。
	●本商品で異常が発生しています。本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合はお問い合わせ先に修理をご依頼ください。
登録ランプが赤点灯している	●ネットワーク情報の取得に失敗(認証エラー)しました。お問い合わせ先にご連絡ください。
登録ランプが赤点滅している	●ネットワーク情報の取得中にエラー(その他のエラー)が発生しました。しばらく待った後で、本商品の電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。改善しない場合は、お問い合わせ先に連絡ください。
	●初期状態ランプが緑点滅しているか確認してください。初期状態ランプが緑点滅している場合は、LAN側IPアドレス(サブネット)がひかり電話のIPアドレス(サブネット)と重複しています。 [Web設定]の「[詳細設定]」-[DHCPv4サーバ設定]の「[LAN側IPアドレス]」を変更して設定してください。

f. 本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯していない

症 状	原因と対策
ひかり電話ランプが消灯している	一本商品名がRXから始まる場合ー(WANポートでRJ-45をご使用になる場合) ●本商品と接続する機器をご確認ください。 本商品はWANポートに回線終端装置(またはVDSLモデル)を直接接続し、LANポートにパソコンを接続していただくようお願いします。本商品と回線終端装置(またはVDSLモデル)の間にハブ(またはルータ等)を接続している場合、ひかり電話を正常にご利用いただくことができない場合があります。 ※複数台のパソコンを利用する場合は、ハブを本商品のLANポートに接続してご利用ください。
	一本商品名がRXから始まる場合ー(LINEポートで小型ONUをご使用になる場合) ●本商品の小型ONU挿入口(LINE)に小型ONUが正しく接続されていることを確認してください。
	一本商品名がPR/RXから始まる場合ー ●本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。改善しない場合は、お問い合わせ先にご連絡ください。

g. ひかり電話が使えない

症 状	原因と対策
ひかり電話が使えない	●本商品背面の電話機ポートと電話機コードで接続されていることを確認してください。 ●ひかり電話でかけられない番号があります。「ひかり電話で発着信できるサービス」(「ひかり電話の使いかた」(別紙))をご確認ください。最新の情報については、当社ホームページをご確認ください。 ●使用する電話機がホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機等である場合、または電話機のAC機能等が動作している場合はひかり電話が正しくご利用になれません。 ●電源を切ってすぐに電源を入れた場合、6分～10分程度ご利用になれないとあります。そのまましばらく待ち、改善しない場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。

h. 本商品背面のLINKランプが緑点灯していない

症 状	原因と対策
LINKランプが消灯している	●本商品とパソコンの両方に電源が入っていることを確認してください。 ●LANポートまたはLANカードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。
	●LANケーブルが本商品のLANポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。 [Web設定]の「[詳細設定]」-[「高度な設定」]-[「LAN側MDI/MDIXモード」]を「自動設定」に設定してください。(初期値は「MDIX固定」です。)
	●インターネットに接続してみよう」(「最初にお読みください」(別紙))をご覧の上配線の確認をしてください。また、パソコンがLINKポートまたはLANカードを認識しているかを確認してください。
	●パソコンのネットワーク接続をご利用になるLINKポートが有効になっていることを確認してください。確認方法はパソコンの取扱説明書等をご確認ください。
	●1Gbps(1000Mbps)に対応しているLINKケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。 お客様でLINKケーブルをご用意いただく場合、LINKポートで1Gbps(1000Mbps)の通信をご利用になるときは1Gbps(1000Mbps)に対応したLINKケーブルをご用意ください。

i. パソコンのIPアドレスが設定されていない

症 状	原因と対策
パソコンのIPアドレスが設定されていない	●パソコンの設定が「IPアドレスを自動取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。 パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a.ご利用のパソコンの設定手順に基づき、IPアドレスの再取得を実行してください。 b.パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れてください。 起動後、「機能詳細ガイド」の「[本商品の設定]」-[「Web設定」]の「[Web設定]」-[「IPアドレスを自動取得する」]を確認してください。

j. Webブラウザで本商品の「Web設定」ページが表示されない

症 状	原因と対策
Webブラウザで、本商品の「[Web設定]」ページが表示されない	●パソコンのネットワークの設定が間違っていないかどうか、「機能詳細ガイド」の「[本商品の設定]」-[「Web設定」]をご覧の上確認してください。 パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a.ご利用のパソコンの設定手順に基づき、IPアドレスの再取得を実行してください。 b.パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れてください。 起動後、「機能詳細ガイド」の「[本商品の設定]」-[「Web設定」]の「[Web設定]」-[「IPアドレスを自動取得する」]を確認してください。
初期状態ランプが橙点滅している	●LAN側IPアドレス(サブネット)と重複しています。 [Web設定]の「[詳細設定]」-[「DHCPv4サーバ設定」]の「[LAN側IPアドレス]」を変更して設定してください。
[Web設定]の「[基本設定]」-[「接続先設定」]-[「IPv4 PPPoE」]と「[Web設定]」-[「接続先設定」]-[「IPv4 PPPoE」]と「[LAN側IPアドレス]」と重複しています。 [Web設定]	

お問い合わせ先

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービス等を提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ: [NTT東日本] <http://web116.jp/ced/> [NTT西日本] <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

本商品について、不明な点等がございましたら、以下にお問い合わせください。
■ NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）ご利用のお客様

- 本商品のお取り扱いおよび故障に関するお問い合わせ
 - ・NTT東日本の提供する「フレッツ光」をご利用の場合：「開通のご案内」に記載の連絡先へお問い合わせください。
 - ・光コラボレーション事業者様のサービスをご利用の場合：お申込みの光コラボレーション事業者様へお問い合わせください。

■ NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）ご利用のお客様

- 本商品のお取り扱いおよび故障に関するお問い合わせ
 - ・NTT西日本の提供する「フレッツ光」をご利用の場合：「開通のご案内」に記載の問い合わせ先にお問い合わせください。
 - ・光コラボレーション事業者様のサービスをご利用の場合：お申込みの光コラボレーション事業者様にお問い合わせいただけますようお願いいたします。

仕様一覧

ハードウェア仕様		
項目	仕様	
WAN ポート	RX	規格 1000BASE-T / 100BASE-TX (IEEE802.3ab / IEEE802.3u) オートネゴシエーション コネクタ形状 8 ピンモジュラージャック (RJ-45) ポート数 1 ポート インタフェース 小型 ONU 専用ポート (SFF-8431 Rev4.1, SFF-8432 Rev5.1, SFF-8472 Rev11.3 準拠)
	LINE ポート (小型 ONU 接入口 (LINE))	コネクタ形状 SFP+ ポート数 1 ポート
	LAN ポート	規格 1000BASE-T / 100BASE-TX (IEEE802.3ab / IEEE802.3u) オートネゴシエーション コネクタ形状 8 ピンモジュラージャック (RJ-45) ポート数 4 ポート (スイッチングハブ内蔵)
	拡張カードスロット	インターフェース ExpressCard/34 (PCI Express) 準拠※オプションの無線 LAN カード SC-40NE 「2」専用 スロット数 1 スロット
電話機ポート	コネクタ形状	6 ピンモジュラージャック (RJ-11)
	ポート数	2 ポート
	供給電圧	約 -48V (無負荷時)
	USB ポート	コネクタ形状 タイプ A コネクタ 規格 USB2.0 ポート数 2 ポート
ランプ表示 ^{*2}	ルータ電源ランプ ^{*1}	電源通電時：緑点灯
	PR/RX アラームランプ	装置障害時：赤点灯、「無線 LAN 簡単セットアップ」設定失敗時：赤点滅 10 秒間、USB ポートの異常検出時：赤点滅 10 秒間
	PPP ランプ	1 セッション接続中：緑点灯、2 セッション以上接続中：緑点灯
	ひかり電話ランプ	ひかり電話利用可能時：緑点灯、ひかり電話通話中／着信中／呼び出し中：緑点滅
	A C T ランプ	WAN 回線利用可能時：緑点灯、WAN 回線でデータ通信中：緑点滅
	登録ランプ	ネットワークから設定情報を取得完了時：緑点灯、ネットワークから設定情報を取得中：緑点滅、ネットワークからの設定情報取得失敗時：赤点灯／赤点滅、「無線 LAN 簡単セットアップ」設定中：緑点滅／緑点滅、「無線 LAN 簡単セットアップ」設定完了時：緑点灯 機点灯 10 秒後、緑点灯に変化します。
	初期状態ランプ	工場出荷状態：緑点灯、IP アドレス重複時：緑点滅
	オプションランプ	内蔵無線 LAN が無効：消灯、内蔵無線 LAN (IEEE802.11ac) がご利用可能：緑点滅、USB 機器接続時：青点滅 (3 回点滅後、2 秒点灯)
	PR 認証ランプ	認証状態：緑点灯
	U N I ランプ	内蔵の ONU 機能利用可能時：緑点灯、内蔵の ONU 機能でデータ通信中：緑点滅
操作部	光回線ランプ	正常状態：緑点灯、装置初期化準備中または装置故障：緑点灯、ONU 機能のファームウェアのダウンロード中：緑点滅
	電源ランプ	電源通電時：緑点灯、装置故障時：赤点灯、ONU 機能のファームウェアのダウンロード完了状態：赤点滅
	映像出力ランプ ^{*4}	映像サービス利用可能時：緑点灯、映像機能故障時：赤点灯
	再起動	再起動用スイッチ
筐体外観	らくらくスタート	無線 LAN 簡単セットアップ用等
	初期化	設定初期化用スイッチ
動作環境	動作環境	締めき璧掛け両用型
	PR 外形寸法	温度：0 ~ 40°C 湿度：20 ~ 80% (結露しないこと) 約 45 (W) × 171 (D) × 258 (H) mm 以下 (突起部、スタンドを除く)
	GE-ONU	約 45 (W) × 171 (D) × 258 (H) mm 以下 (突起部、スタンドを除く)
	GV-ONU	約 45 (W) × 171 (D) × 222 (H) mm 以下 (突起部、スタンドを除く)
電源	電源	AC100V ± 10V 50/60Hz
	消費電力	最大 35W 以下 ^{*3} (電源アダプタ含む) RX は小型 ONU を含む消費電力です。
	品質	PR 約 0.8kg 以下 (電源アダプタ、無線 LAN カード含まず) GV-ONU 約 1.0kg 以下 (電源アダプタ、無線 LAN カード含まず) RX 約 0.6kg 以下 (電源アダプタ、無線 LAN カード、小型 ONU を含まず)
電磁妨害波規格		

ソフトウェア仕様		
項目	仕様	
ルータ機能	WAN プロトコル	PPPoE (PPP over Ethernet)、IPOE (IP over Ethernet)
	PPP 認証	自動認証 (CHAP/PAP) / CHAP 固定 / PAP 固定
	PPP 接続／切断	常時接続 (自動接続) / 要求接続 (無通信時切断)
	接続先数	IPv4セッション 登録：5箇所、同時接続：5箇所 IPv6セッション 登録：1箇所、同時接続：1箇所
	ルーティング方式	スタティックルーティング (約 40 経路)
	DHCP サーバ機能	あり (最大 253 アドレス割当)
	Proxy DNS 機能	あり (LAN 側 DNS サーバ指定可)
	NAT 機能	IP マスクレード：最大 4096 セッション、静的 IP マスクレード機能 静的 NAT：最大 64 アドレス
	ユニバーサルブラウザ (UHP) 機能	あり (ポート番号の範囲指定可)
	DMZ ホスト機能	あり (LAN 側 IP アドレス指定による)
VoIP 機能	複数固定 IP サービス 対応機能	あり
	パケットフィルタ機能	フィルタ種別、送信元 IP アドレス、宛先 IP アドレス、プロトコル種別、送信元ポート、宛先ポート、方向指定可能
	セキュリティ保護機能	不正アクセス拒否機能 (LAND 攻撃、smurf 攻撃、IP Spoofing 攻撃)、不正アクセス検出機能 (LAND 攻撃、smurf 攻撃、IP Spoofing 攻撃)
	IPv6 ブリッジ機能	あり (NGN-RA モード時、または NW マイグレモード時)
	PPPoE ブリッジ機能	あり (PPPoE ブリッジ設定時、かつ PPPoE 接続設定なしの時)
設定・保守機能	接続手順	SIP
	音声 CODEC	iTU-T G.711 μ-law
	エコードキャンセラ	iTU-T G.168
	設定方法	Web ブラウザ、電話機による設定・保守
設定・保守機能	状態表示機能	回線状態、WAN 側 IP アドレス、バージョン情報他
	ログ機能	あり
	設定値の保存・復元機能	ファイルに保存、ファイルからの復元
	ルータ機能のソフトウェアバージョンアップ機能	Web ブラウザを使用、電話機を使用、自動更新
無線 LAN 仕様		
無線 LAN 機能 (本商品に内蔵の無線機能を使用した場合)	IEEE802.11a	周波数帯域／チャネル (W52) 5.2GHz 帯 (5150 ~ 5250MHz) / 36, 40, 44, 48ch (W53) 5.3GHz 帯 (5250 ~ 5350MHz) / 52, 56, 60, 64ch (W56) 5.6GHz 帯 (5470 ~ 5725MHz) / 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch 伝送速度 OFDM (直交周波数分割多重) 方式 伝送速度 ^{*1} 最大 54Mbps (自動切換)
	IEEE802.11n (5GHz 帯)	周波数帯域／チャネル (W52) 5.2GHz 帯 (5150 ~ 5250MHz) / 36, 40, 44, 48ch (W53) 5.3GHz 帯 (5250 ~ 5350MHz) / 52, 56, 60, 64ch (W56) 5.6GHz 帯 (5470 ~ 5725MHz) / 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch 伝送方法 OFDM (直交周波数分割多重) 方式 伝送速度 ^{*1} 最大 600Mbps (帯域幅 40MHz の場合) (自動切換)
	IEEE802.11ac	周波数帯域／チャネル (W52) 5.2GHz 帯 (5150 ~ 5250MHz) / 36, 40, 44, 48ch (W53) 5.3GHz 帯 (5250 ~ 5350MHz) / 52, 56, 60, 64ch (W56) 5.6GHz 帯 (5470 ~ 5725MHz) / 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch 伝送方法 OFDM (直交周波数分割多重) 方式 伝送速度 ^{*1} 最大 1733Mbps (帯域幅 80MHz の場合) (自動切換)
	アンテナ	ダイバーシティ方式 / 送信 4 × 受信 4 MIMO (内蔵)
	セキュリティ	「WPA2-PSK (AES)」、「WPA-PSK/WPA2-PSK (TKIP/AES)」、無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)、MAC アドレススフィルタリング、ポートセパレート
無線 LAN 機能 (拡張カードスロットに無線 LAN カードを装着した場合)	端末インターフェース	Express Card/34 (PCI Express) 準拠
	IEEE802.11b	周波数帯域／チャネル 2.4GHz 帯 (2400 ~ 2484MHz) / 1 ~ 13ch 伝送方法 DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式 伝送速度 ^{*1} 最大 11Mbps (自動切換)
	IEEE802.11g	周波数帯域／チャネル 2.4GHz 帯 (2400 ~ 2484MHz) / 1 ~ 13ch 伝送方法 OFDM (直交周波数分割多重) 方式 伝送速度 ^{*1} 最大 54Mbps (自動切換)
	IEEE802.11n (2.4GHz 帯)	周波数帯域／チャネル 2.4GHz 帯 (2400 ~ 2484MHz) / 1 ~ 13ch 伝送方法 OFDM (直交周波数分割多重) 方式 伝送速度 ^{*1} 最大 300Mbps (帯域幅 40MHz の場合) (自動切換)
	アンテナ	ダイバーシティ方式 / 送信 2 × 受信 2 MIMO (無線 LAN カードに内蔵)
	セキュリティ	「WEP (128bit)」、「WEP (64bit)」、「WPA-PSK (TKIP)」、「WPA2-PSK (AES)」、「WPA-PSK/WPA2-PSK (TKIP/AES)」、無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)、MAC アドレススフィルタリング、ポートセパレート

* 1 無線 LAN の規格値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

らくらく無線スタートは、NEC ブラットフォームズ株式会社の登録商標です。

「SmartVIEW」は、株式会社ソリューションズの商標または登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、各会社名、各製品名およびサービス名等は各社の商標または登録商標です。

症状	原因と対策
無線 LAN 通信ができるない	●暗号化方式で WEP をご利用になる場合、使用する WEP キー (キーインデックス) および WEP キー (WEF キー 1 ~ 4) の設定は本商品と接続する無線 LAN 端末との間で同じ設定にしてください。(☞ 「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」の「無線 LAN 設定」)
「Web 設定」の「無線 LAN 設定」 - [IEEE802.11ac/n/a (5GHz) 設定]、[IEEE802.11b/g/n (2.4GHz) 設定] で本商品と接続する無線 LAN 端末によっては、12ch、13ch は使用できない場合があります。自動設定でつながらない場合は無線 LAN 端末の設定を確認して、使用チャネルの設定を変更してください。	→本商品の MAC アドレスフィルタリングが「使用する」になっている場合、無線 LAN 端末の MAC アドレスを MAC アドレスエントリに登録する必要があります。(☞ 「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」の「無線 LAN 設定」 - [MAC アドレスフィルタリング] - [接続を許可する無線 LAN 端末の MAC アドレスエントリ])
●本商品は IEEE802.11n または IEEE802.11ac 方式対応の無線 LAN 端末を接続する際、無線 LAN 端末の暗号化方式を WPA2-PSK (TKIP)、WPA-PSK (AES) または WPA-PSK (TKIP) に変更している場合があります。	→本商品の MAC アドレスフィルタリングが「使用する」となっている場合、無線 LAN 端末の MAC アドレスを MAC アドレスエントリに登録する必要があります。(☞ 「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」の「無線 LAN 設定」 - [MAC アドレスフィルタリング] - [接続を許可する無線 LAN 端末の MAC アドレスエントリ])
●節電機能が動作している場合は、無線 LAN 機能がご利用になれません。無線 LAN 利用時は、節電機能を「使用しない」に設定してご利用ください。(☞ 「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」の「無線 LAN 設定」)	●本商品の拡張カードスロットに専用無線 LAN カード (SC-40NE 「2」) が正しく取り付けられていない →「無線 LAN の利用について」(☞ 「最初にお読みください (別紙)」) をご覧の上確認してください。
●本商品の拡張カードスロットに専用無線 LAN カード (SC-40NE 「2」) が正しく取り付けられていない →「無線 LAN の利用について」(☞ 「最初にお読みください (別紙)」) をご覧の上確認してください。	●本商品の拡張カードスロットに専用無線 LAN カード (SC-40NE 「2」) が正しく取り付けられていない →「無線 LAN の利用について」(☞ 「最初にお読みください (別紙)」) をご覧の上確認してください。
「無線 LAN 簡単セットアップ」が成功しない	●本商品の拡張カードスロットに専用無線 LAN カード (SC-40NE 「2」) が正しく取り付けられていない →「無線 LAN の